

質問および意見書として提出します。

「既設ダムの長寿命化について(補足説明)への疑問」

2007年10月30日
自然愛・環境問題研究所
代表 浅野隆彦

- 1) 陸上掘削した堆砂は何処へ、捨てるのか？その運搬手段、経路、時間帯、総経費は？
- 2) 既設ダム建設時のバイパス・トンネルの現状を示されたい。
- 3) 川上ダムの「年平均想定堆砂量」は、もともと比奈知ダム集水域の地質と似ているとして、3,000m³/年で堆砂容量を設計している。この経緯からいくと現実の比奈知ダムと同じ「年平均堆砂量」=7,000m³/年に修正するべきではないか？
- 4) 既設ダムの夫々の低下可能水位と最低水位を示されたい。そして、両方の水位で表出する堆砂量を示されたい。
- 5) 幾つかの方法、手段をあげて経費の検討内容を示されたい。
- 6) 堆砂容量内の余剰水量を使えば、全体の既設ダムが連携し、利水損失をカバーできると森川さんは書いている。このような検討をしているなら、その内容を示されたい。